

令和5年度 コミュニティ・スクール大田区立調布大塚小学校 学校経営計画<家庭で育ち、学校で学び、地域に生きる子どもを育てます>

校長 玉野 麻衣

おおた教育ビジョン～豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる～

- 社会の変化に主体的に対応し、未来を創る力を育成する
- 「知・徳・体」の調和のとれた成長を図り、豊かな人間性を涵養する
- 意欲にあふれ、個性と可能性を最大限に伸ばす学びの場を創出する
- 地域の特色を生かし、学校・家庭・地域が連携・協力して子どもを育てる

教育目標

- よく考える子ども
  - ・問題を発見・解決し、新たな価値を創造する。
  - ・よりよい社会の在り方を主体的に考える。
- 思いやりのある子ども
  - ・自他の存在を尊重し、多様な他者と協働する。
- ねばり強い子ども
  - ・直面する様々な変化を柔軟に受け止め、諦めずに努力し続ける。
- 健康な子ども
  - ・適切な意思決定や行動選択をする。
  - ・自分の心身に関心を持ち、進んで健康的な生活を送る。

学校目標<未来実現プロジェクト>

- 他学年との関わりを大切にしよう
    - ・他学年との関わりを深め仲のよい学校をつくろう
  - 学校のきまりを守ろう
    - ・安心、安全で居心地のいい学校をつくろう
  - みんなが過ごしやすい学校をつくろう
    - ・学校に行きたいと思えるような楽しめる学校をつくろう
- ※ 目標の実現に向けたプロジェクトチームからの提案・検討・実現

子どもの学びを進化させる専門性の向上

- 学年交換授業の実施
- いじめ防止・不登校対応、安全・危機管理
  - ・未然防止、早期発見、初期対応、組織対応の徹底
  - ・「いじめ防止基本方針」「大田区不登校対策アクションプラン」「相談シート」による対応の徹底
- 人権尊重の理念・人権課題への深い理解
  - ・偏見や差別意識の不合理性への理解
  - ・価値的・態度的側面・技能的側面の理解
  - ・「人権教育プログラム」による定期的リフレクション
- 特別支援教育の推進・充実
  - ・「デマンド・ニーズ・実行プログラム」や個別の指導計画による組織的対応の充実
  - ・児童の特性や状況に応じたアセスメントと手だての明確化
  - ・関係機関と連携したコンサルテーションの活用
  - ・授業ユニバーサルデザインによる学習環境改善
- 「OJT パッケージ」による教科等専門性・授業力の向上
- GIGA 推進チームによるタブレット利活用の推進・充実
- 服務事故防止・メンタルヘルスの組織的対応の徹底

大田区新教科「おおたの未来づくり」の新設に向けた研究実践校(2年次)

「エージェンシーの発揮を促す基盤となるカリキュラムをデザインする  
—変革をもたらすコンピテンシーを教科等横断的に育成する—

変革をもたらす3つのコンピテンシー

新たな価値を創造する力

イノベーションを起こしていくために、現状に疑問をもち、他者と協働しながら、既存の枠組に捉われずに考えること。

対立やジレンマに対処する力

二項対立の選択肢ではなく、折り合いを付けながら合理的な解決策を見いだしていくこと。

責任ある行動をとる力

これまでの経験や教わってきたこと、善悪などに照らし合わせて、自らの行動を省察し評価すること。

何を学ぶか

- 学び方を学ぶ。
- 教科等の特性に応じた見方・考え方を学ぶ。
- 多様な他者と協働することを学ぶ。
- 学習したことを他の学習や生活で活用することを学ぶ。
- 想像力を高め多様性を尊重し認め合うことを学ぶ。
- 規範意識を高めて行動することを学ぶ。
- 地域や社会のために自分ができることを考え行動することを学ぶ。

新教科新設に向けた体験学習の充実

- 田園調布せせらぎ館をハブとした地域学習
- 区内資源を生かした校外学習
- 企業との連携学習
- 高学年での TGG (体験型英語学習)

どのように学ぶか

- 「予習—授業—復習」サイクルで学ぶ。
- 「習得サイクル」で意味理解を深める。
  - ・アウトプットしながら理解確認する。
  - ・協働しながら理解深化する。
  - ・学習を振り返り次の学習に生かす。
- 「探究サイクル」で深く探究する。
  - ・つかむ—あつめる—まとめる—あらわす
  - ・コンセプト設定—発想—設計—創出—発信
- 教科等横断的に学ぶ。
  - ・他教科等との関連性や連続性に着目する
- 多様な他者と関わりながら学ぶ。
- 豊かな地域資源から学ぶ。
- イノベーションシートでのリフレクションを生かしながら学ぶ。
- 「製品の開発(ものの創造)」と「地域の創生(取組の創造)」を視点に学ぶ。

成果指標(肯定的回答9割以上)

<児童対象意識調査>

- 「授業が分かる」
- 「協働することで考えが深まる」
- 「他学年との関わりを大切にしている」
- 「きまりを守っている」
- 「みんなが過ごしやすい学校をつくっている」
- 「学校が楽しい」